

平成30年度
決算説明資料

令和元年10月3日

総務関係

目 次

	頁
1 市庁舎における営繕工事について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 情報システムに係る契約実績の推移について・・・・・・・・	2
3 第20回アジア競技大会等の推進に係る主な取り組みについて・・・・・・・・	3
4 第20回アジア競技大会における選手村の検討について・・・・・・・・	4
5 女性の年齢階級別労働力率の比較について・・・・・・・・	6
6 職員の主な研修について・・・・・・・・・・・・・・・・	7
7 女性活躍推進に係る職員の研修について・・・・・・・・	8
8 市立大学都市政策研究センターの主な活動実績について・・・・・・・・	9
9 市立大学病院における駐車場の状況について・・・・・・・・	10

1 市庁舎における営繕工事について

区 分	決 算 額
非常用発電機更新工事（東庁舎・西庁舎）	596,005 <small>千円</small>
エレベーター更新工事（本庁舎）	214,763
洋式化等トイレ工事	24,004
LED化等照明工事	19,520
機構改革による執務室改修工事	8,416
敷地内舗装工事	6,074
階段天井塗装工事（本庁舎）	2,160
階段手摺取付工事（本庁舎）	2,052
その他工事	22,839
合 計	895,833

2 情報システムに係る契約実績の推移について

区 分		平成28年度	平成29年度
機器賃貸借等	件 数	57件	59件
	うち随意契約件数 (割 合)	9件 (15.8%)	6件 (10.2%)
	決 算 額	40億円	63億円
開発・再構築	件 数	8件	8件
	うち随意契約件数 (割 合)	2件 (25.0%)	3件 (37.5%)
	決 算 額	5億円	7億円
運用・保守・ 改 修 等	件 数	91件	86件
	うち随意契約件数 (割 合)	81件 (89.0%)	76件 (88.4%)
	決 算 額	43億円	36億円
合 計	件 数	156件	153件
	うち随意契約件数 (割 合)	92件 (59.0%)	85件 (55.6%)
	決 算 額	88億円	105億円

(注) 1 単位未満を四捨五入したため、合計と一致しない場合がある。

2 1千万円以上の契約について集計

3 第20回アジア競技大会等の推進に係る主な取り組みについて

区 分	内 容
開催都市契約	<ul style="list-style-type: none"> ・開催都市の負担軽減等のため、アジア・オリンピック評議会（OCA）と契約内容の修正協議を行い、契約を締結
組織委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・設立準備委員会を設置し、組織委員会の名称や目的、拠出割合等を協議 ・組織委員会の評議員や理事を内定
大会開催基本計画	<ul style="list-style-type: none"> ・第18回アジア競技大会の調査を実施し、調査結果も踏まえ、大会開催基本計画の内容を検討
競技会場	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村からの提案や競技団体の意向、新施設の整備計画を踏まえ、再調整を実施
広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外で計19回のイベントに出展し、大会開催を周知
選手村	<ul style="list-style-type: none"> ・民間研究会及び有識者懇談会での意見を踏まえたまちづくりの方向性、都市基盤の機能を検討 ・集合住宅等の施設を一時使用するための仕様や仮設建築物の工法を検討
レガシー	<ul style="list-style-type: none"> ・有識者懇談会において意見を聴取し、レガシーに関するビジョンの中間案を作成
アスリートの発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地元出身のアスリートを発掘・育成するため、関係団体で事業骨子やスキームを検討
アジアパラ競技大会	<ul style="list-style-type: none"> ・日本パラリンピック委員会（JPC）の要請を受け、2026年のアジアパラ競技大会の開催検討に着手

4 第20回アジア競技大会における選手村の検討について

(1) 検討内容

区 分	内 容
後 利 用	民間研究会や有識者懇談会での意見を踏まえたまちづくりの方向性、都市基盤の機能
選手村整備	集合住宅等の施設を一時使用するための仕様や仮設建築物の工法

(2) 民間研究会

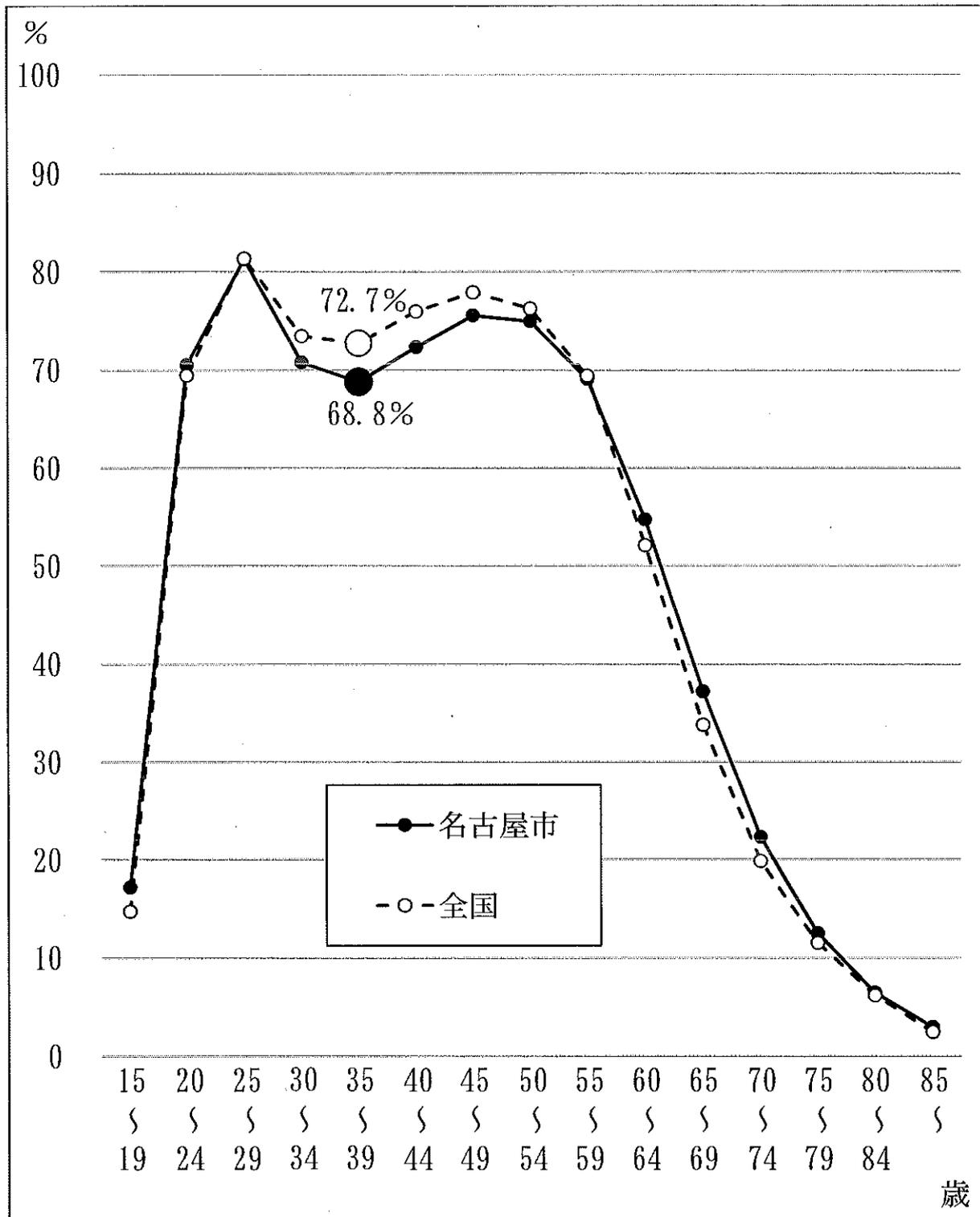
ア 実施概要

区 分	内 容
実 施 期 間	平成30年7月から平成31年3月まで
実 施 方 法	後利用事業に参画意向のある民間事業者11者と個別に対話
対 話 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者からの提案内容や名古屋競馬場跡地の事業性、ポテンシャルの確認 ・ 事業者及び行政における条件や要望等の意見交換 ・ 導入機能の規模や配置の意見交換 ・ 選手村として一時使用する上での条件確認
提 案 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集合住宅や戸建住宅 ・ 高齢者向け住宅を中心とした地域包括ケア拠点 ・ 商業複合施設や生活利便施設 ・ 教育施設や医療施設 ・ スポーツ施設やアウトドア施設 ・ 複合型リゾート施設や温浴施設 ・ ビジネス施設やインキュベーション施設 ・ 展示場や物流倉庫

イ 主な意見

- ・環状線沿いの立地は魅力があり、希少性は高いが、事業開始までの期間が長く、具体の用途等の予測が困難
- ・選手村として一時使用する場合の条件の整理が必要
- ・敷地全体での開発は、統一したコンセプトのもとで、大規模な事業が可能となるが、民間需要だけで全て埋めるのは困難
- ・敷地の北東角は民間での活用が必要
- ・都市基盤が整備されることは事業進出にプラス
- ・場外馬券場は住環境にとっても事業進出にとってもマイナス要素
- ・集合住宅の需要は最大でも200戸から300戸程度

5 女性の年齢階級別労働力率の比較について



- (注) 1 平成27年国勢調査より作成
 2 労働力率は、15歳以上人口（労働力状態不詳を除く）に占める労働力人口の割合

6 職員の主な研修について

(1) 基本研修

経験年数や職責に応じた基本的能力を養成する研修

区 分	対 象 者	参加者数
新規採用者	新規採用職員	693 ^人
2年目職員	採用2年目の職員	413
3年目職員	採用3年目の職員	377
中堅職員	概ね採用10年目の職員	371
新任係長	係長級昇任者	218
新任課長	課長級昇任者	120

(2) 選択研修

専門的知識や技能について職員が自発的に能力開発を目指す研修

区 分	対 象 者	参加者数
待遇・CS向上	採用2年目以降の職員等	70 ^人
折衝・調整力向上		90
タイムマネジメント		90
伝える力向上		90

(3) その他の研修

区 分	対 象 者	参加者数
NPO派遣、企業派遣	前年度に係長昇任選考に合格した職員等	31 ^人
人権指導者養成		38
新規採用者サポーター養成	新規採用職員が配属された所属の先輩職員	310

7 女性活躍推進に係る職員の研修について

区 分	内 容	参加者数
新規採用者	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザイン ・仕事と子育て両立支援 ・男女平等参画 	455人
3年目職員	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザイン 	377
中堅職員	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザイン 	371
主任・技能主任	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と子育て両立支援 	488
新任係長	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進 ・仕事と子育て両立支援 ・男女平等参画 	218
新任課長	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進 ・仕事と子育て両立支援 ・男女平等参画 	120
育児休業者職場復帰支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援制度 ・仕事と子育て両立支援 	149
女性職員の活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進 ・キャリアデザイン 	45
ワーク・ライフ・バランス 推進	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援制度 ・仕事と子育て両立支援 	52

8 市立大学都市政策研究センターの主な活動実績について

(1) シンポジウム

区 分	内 容
開 催 日	平成30年7月19日(木)
テ ー マ	大都市の抱える問題を考える
対 象 者	本市職員、近隣市町村職員、市民 等
参加者数	約500人

(2) セミナー

区 分	内 容
開 催 日	第1回：平成30年12月18日(火) 第2回：平成31年 1月29日(火) 第3回：平成31年 2月21日(木)
テ ー マ	第1回：高齢化社会の抱える問題点 ～財政からの視点～ 第2回：情報法制の現在と今後の展望 第3回：ユニバーサルデザインのこれまでとこれから
対 象 者	本市職員
参加者数	第1回：56人 第2回：25人 第3回：31人

(3) 調査・研究の受託件数

11件

9 市立大学病院における駐車場の状況について

区 分		平成29年度	平成30年度
一 般 外 来 日 数		244日	244日
路 上 待 機 車 両	発 生 日 数	176日	181日
	発 生 率	72.1%	74.2%
	一 日 当 た り の 最 大 待 機 台 数	41台	39台